

事務事業名		市有林管理事業				評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)	
政策体系	基本目標	3 魅力と活力ある産業づくり				担当組織	担当部	産業文化部	担当課	農山村振興課
	政策	1 産業振興で活力のあるまちづくり				担当係	森林整備係	担当課長名	富田一夫	
	施策	1 都市型農業の推進と中山間地域の活性化				新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	4 林業の活性化				実施計画事業・一般事業		一般事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名				
	9924	一般	6	2	1	市有林管理事業				
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	年度～	年度	根拠法令 条例等	市単独事業・国県補助事業		市単独事業		
						任意的事業・義務的事業		任意的事業		
						実施方法		一部委託		
						事業分類		施設等整備事業		
						リーディングプロジェクト		該当なし		
						市長マニフェスト		該当なし		

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)											
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)					平成26年度実績(平成26年度に行った主な活動内容)						
市の所有する山林の撫育等の管理 ・森林国営保険料 ・間伐業務、巡視業務委託 ・森林組合賦課金 【市有林面積】 288.28ha 【個別面積】 丸岩 63.11ha 秋山 20.89ha 穴切 22.32ha 大久保 22.07ha 岩松 0.55ha 小拍子 9.65ha 高戸口 35.96ha 高原 46.83ha 大仏 34.55ha 会沢 3.83ha 熊穴 19.72ha 要谷 6.67ha 丸山 2.13ha					・森林国営保険料 2,185,225円 ・市有林巡視業務委託料 106,920円(みかも森林組合) ・森林組合賦課金 191,500円(みかも森林組合、桐生広域森林組合)						
活動指標					単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)	
間伐面積(市有林)					ha	3.4	13.4	2.5			
② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)											
市所有の植栽された山林					対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)
市有林面積					ha	288.28	288.28	288.28	288.28	288.28	
目的											
③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)											
健全な森林の育成					成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)
間伐面積/市有林面積					%	1.2	4.6	0.9			
④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)											
健全で木材生産性の高い森林が創出される。					上位成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)
間伐の実施面積					ha	13	45	100	110	110	

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)			
	国庫支出金	千円								
	県支出金	千円								
	地方債	千円								
	その他	千円								
	一般財源	千円	2,458	2,484	2,545	2,545	2,545			
	事業費計(A)	千円	2,458	2,484	2,545	2,545	2,545			
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			損害保険料	2,162	損害保険料	2,185	損害保険料	2,234	損害保険料	2,234
			巡視業務委託料	104	巡視業務委託料	107	巡視業務委託料	110	巡視業務委託料	110
森林組合賦課金			192	森林組合賦課金	192	森林組合賦課金	201	森林組合賦課金	201	
正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1				
のべ業務時間	時間	40	40	40	40	40				
人件費計(B)	千円	156	158	158	158	158				
トータルコスト(A)+(B)	千円	2,614	2,642	2,703	2,703	2,703				

事務事業名	市有林管理事業	担当部	産業文化部	担当課	農山村振興課	担当係	森林整備係
-------	---------	-----	-------	-----	--------	-----	-------

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	合併前の村の時代からあり、木材の価値があった頃は歳入の財源として管理していたのではないかと考える。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	地球温暖化防止対策や森林環境税など、森林を取巻く環境はめまぐるしく変化して、関心が高くなってきている。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	「もうちょっと手入れをしたほうがよい」との声を聞いた。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持	

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案 森林を整備しているから促進になる
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない	理由・改善案 市所有の山林を市が管理するのは妥当である。温暖化防止対策として森林整備を推進しているなか、市有林を市が間伐等の撫育管理をするのは妥当である。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案 温暖化防止対策として、森林整備の重要性が叫ばれているなか、その対策に寄与していることになり、健全な森林の育成に成果が見られ、妥当である。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がない	理由・改善案
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はない	理由・改善案 類似事務事業名
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない	理由・改善案
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	受益者負担を求める必要がない	理由・改善案
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)	市有林がなくなった場合	

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																							
現状維持(従来通り実施) * 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。 (複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。 <table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×	
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持		○	×																					
	低下		×	×																					